

8
17

開館から1年あまりで10万人に到達

もりのひみつきち 10万人達成！



石川県森林公園開園50周年を記念して整備され、令和6年7月にオープンした屋内木育施設「もりのひみつきち」の入館者数が、8月17日に10万人を突破し、その記念式典が行われました。

式典では、10万人目の来館者となった金沢市在住の細川さんご家族が、矢田町長、馳知事、焼田県議会議員とくす玉を割ってお祝いしました。矢田町長は「昨年の冬休みに5万人を達成し、夏休みに10万人を達成した。これからも大勢の方に利用していただき、20万人、30万人、50万人、100万人と続いてほしい」と述べ、さらなる発展に期待を寄せました。

この日初めて来館した細川和平さん、妻の千香子さん、長男の颯太さんには、記念品として「もりの絵本購入券（図書カード）」と、森に住む動物の積木が贈られました。

細川さんは、「今日は1・2歳向けのスペースで遊んだが、もう少し大きくなったら違った遊びがたくさんできそうで楽しみ」と話し、記念になった来館を喜びました。



10万人目となった細川さんご家族



このコーナーでは、町のニュースや地域のイベントなど、町的话题をお伝えしていきます。

広報つばた

9

CONTENTS

- 02 まちのNEWS!
- 05 定額減税補足給付金(不足額給付)
- 08 暮らしの情報
- 20 大腸がん検診を受けよう!
- 21 令和7年国勢調査
- 22 消費生活「不審電話に注意」
- 23 友だちリレー、Cook Do どう?
- 24 図書館へおいでよ
- 25 つばた空港、こども科学館
- 26 ケーブルテレビ番組表
- 27 赤ひげ通信、文芸
- 28 手話、フィットネス、QUIZ
- 29 慶弔だより
- 31 こどもの広場
- 33 ごみ収集ごよみ、休日当番医ほか
- 35 イベントカレンダー

今月の表紙



つばたレガッタ

今月の表紙は、8月24日に石川県津幡漕艇競技場で開催されたつばたレガッタです。

本大会では、漕手4人とコックス1人が乗る「ナックルフォア」競技による500メートルのレースが行われました。各クルーは、地区や年齢、性別によって8部門に分かれ、全69クルー・439人が参加して順位を競いました。

選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、掛け声を合わせながら力強くオールを漕ぎ、湖面を進んでいきました。チーム一丸となってゴールを目指す姿に、観客からは大きな声援が送られました。(北方)

7/30

水道水ができる工程を知る

夏休み親子町政バス

夏休み親子町政バスが7月30日、31日に開催され、22組53人が参加しました。

今回は「みんなで学ぶ 水道のひみつ」をテーマに、普段飲んでいる水がどのようにして作られ、各家庭や学校などに供給されているかを学びました。

上水道の仕組みについての説明を町職員から受けた後、緑が丘にある配水池と太田受水槽を見学しました。その後、白山市の鶴来浄水場に向かい、川の水から水道水が作られる工程を見学し、できたての水道水を試飲しました。

参加者からは「普段は見ることのできない施設を見学できてよかった」などの感想が寄せられました。



7/29

夏休みこども消費者教室

キーボックスを作ろう

津幡町消費生活センターによる夏休みこども消費者教室「からくりキーボックスを作ろう」が7月29日にシグナスで行われ、約40人が参加しました。

この教室は、地元産業に触れてもらうことを目的に開催され、町内の建具職人を講師に迎えています。

今回は、からくりを利用した木製のキーボックスを組み立て、自分で施解錠の仕組みを設定しました。

参加者からは「木でキーボックスを作れてすごい」、「からくりについてもっと知りたい」といった感想が寄せられました。

この模様は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で9月15日まで放送しています。

8/2

能登復興の願い響く

つばたまつり 大盛況

つばたまつりが8月2日に津幡中央公園を主会場に開催され、約6千人が来場しました。

石川県住みます芸人の「ぶんぶんボウル」をはじめ、石川元気応援隊「ジャンピン」やダンス&ボーカルグループ「BiTE A SHOCK」によるステージイベント、モデルでタレントとしても活躍する「みりちゃん」のトークショー、恒例の踊り流しなどが催されました。

今年も能登の特産品を景品にした能登応援大抽選会が行われ、この日一番の盛り上がりを見せました。ステージイベントでも中能登町指定無形文化財である「天平太鼓」の力強い演奏もステージを彩り、能登地方の復興への願いを込めた迫力ある太鼓の音が響き渡りました。

会場には中能登町物産市が出店し、地元の特産品などが並び、訪れた人たちは珍しい商品を手に取り、中能登町の魅力を感じながら楽しみました。



8/8

保育園や図書館などで活動

新CIR アリシャさん着任

カナダのオンタリオ州出身の新しい国際交流員(CIR)のトーガス・アリシャさん(22)が、8月8日に矢田町長に着任の挨拶を行いました。

CIRとは、国際交流を推進するために高い日本語能力を生かして地方自治体に勤務する職員です。

アリシャさんは母親が日本人のため、よく日本に来ていたそうです。矢田町長が「津幡の子どもたちは元気なので、たくさん思い出を作って楽しんでほしい」と歓迎すると、アリシャさんは「津幡町が第二の故郷となるような思い出を作りたい」と応えました。

今月の「つばた空港」は、アリシャさんが自己紹介を兼ねたコラムを執筆しています。



8/3

全国選抜社会人相撲選手権大会

池田俊選手が2連覇

第54回全国選抜社会人相撲選手権大会が8月3日に津幡町常設相撲場で開催され、全国から選抜された24チーム89人が内閣総理大臣杯をかけて競いました。

この大会は、安土桃山時代を起源とする「八朔大相撲」を昭和45年に継承したもので、社会人アマチュア相撲の頂点を決める大会として開催されています。土俵上では選手たちが力・技をぶつけ合い、大迫力の取り組みで会場を大いに沸かせました。

団体戦ではアイシンが初優勝を決め、個人戦では2年連続でアマチュア横綱に輝いた七尾市出身の池田俊選手(ソディック)が2連覇を果たしました。

8/21

世界留学生交流 いしかわ2025

JAPAN TENT

第38回ジャパンテントが8月21日から24日の4日間の日程で開催され、全国各地で学ぶ留学生130人が石川県へホームステイにやってきました。

このイベントは、石川県の国際化と情報発信を推進するもので、今回、津幡町では5人の留学生を4組の家庭で迎えました。

留学生たちが組みひも作りや繊維メーカーの工場見学、凧づくりなどを通して日本の文化に触れる一方で、受け入れたホストファミリーからも楽しく異文化交流ができたとの声がありました。

言葉や文化を超えた交流が、今後も続いていくことが期待されます。



8/8

古代のアクセサリーを作ろう

勾玉づくり

子ども歴史民俗講座「勾玉をつくろう」が8月8日にシグナスで行われ、約40人が参加しました。

この体験では、滑石を大きな石で削り、麻布で磨くことで、古代のアクセサリーである勾玉を作ります。

講師から道具の使い方や勾玉の由来について説明を受けた後、子どもたちは真剣な表情で滑石を削り始め、個性あふれる勾玉が完成しました。

参加した子どもたちは、勾玉をひもで括り付け、首にかけて持ち帰りました。

この模様は、町ケーブルテレビ「つばたホットライン」で9月16日から放送予定です。